

# JIS X 8341-3改正に向けて

ウェブアクセシビリティ基盤委員会  
臨時WG6 (JIS X 8341-3 改正原案検討)

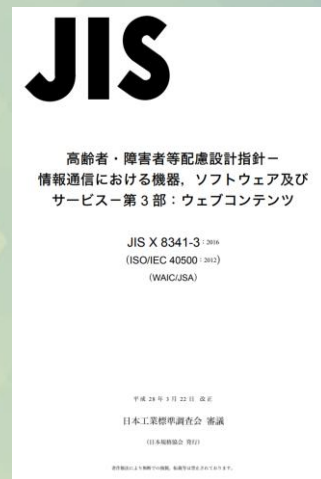
主査： 福田 健太郎

副査： 中村 直樹



# JIS X 8341-3とは？

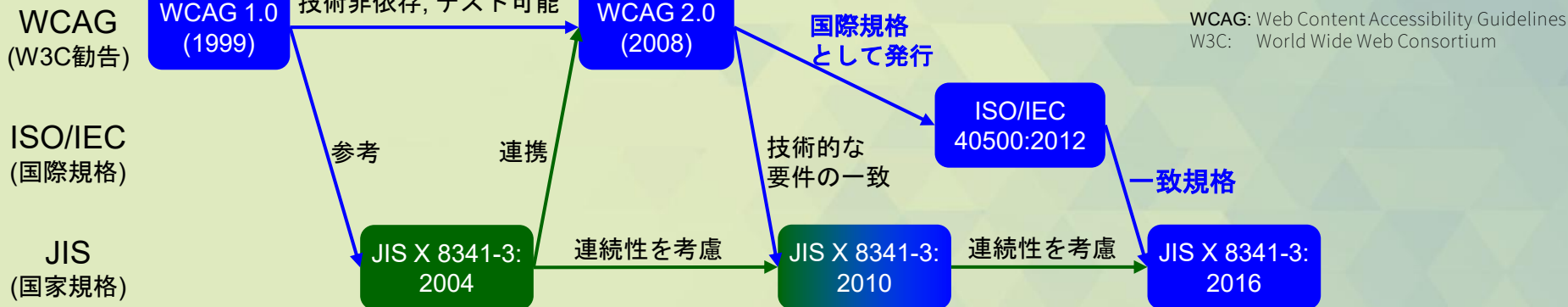
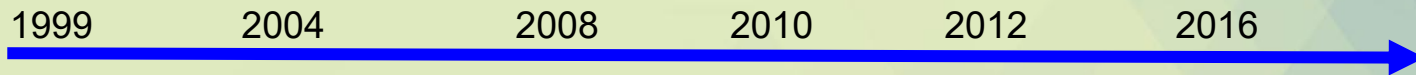
- 高齢者・障害者等配慮設計指針  
一情報通信における機器，ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ
- 高齢者及び障害のある人を含む全ての利用者が，使用している端末，ウェブブラウザ，支援技術などに関係なく利用することができるように，ウェブコンテンツが確保すべきアクセシビリティの基準について規定。



[JSA GROUP Webdesk](#)より



# JIS X 8341-3の歴史 (1)



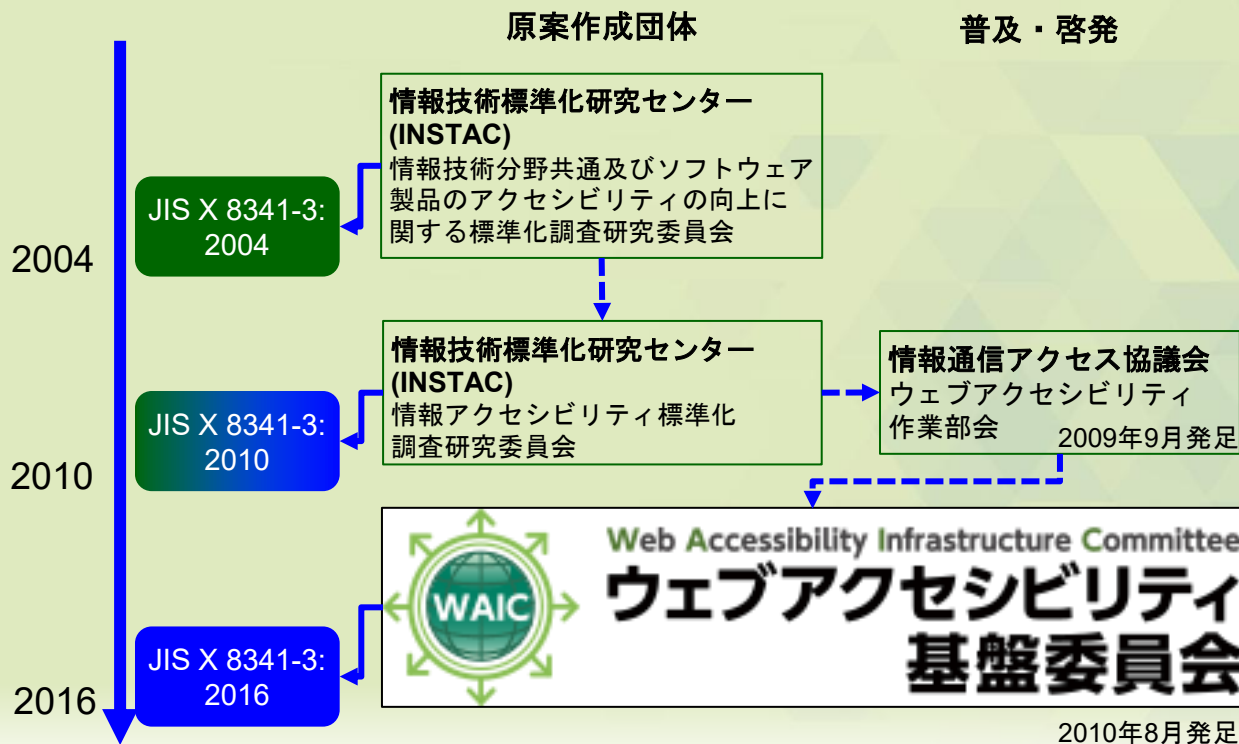
- JIS X 8341シリーズ
- WCAG 1.0などを参考にしつつ日本語固有の問題などに対応
- 情報アクセシビリティの確保・向上に関する全般的要件
- 附属書に具体的な例示を含む

- WCAG 2.0を含む形で改正
  - 技術的な要件はWCAG 2.0と一致
  - 旧規格との連続性を考慮
- JIS固有の項目
  - ウェブアクセシビリティの確保・向上に関する要件
  - 試験方法

- 国際規格ISO/IEC 40500:2012及びWCAG 2.0と同一の内容
- 旧規格との連続性を考慮
  - 附属書JA (参考) ウェブアクセシビリティの確保・維持・向上のプロセスに関する推奨事項
  - 附属書JB (参考) 試験方法



# JIS X 8341-3の歴史 (2)



## ウェブアクセシビリティ 基盤委員会 (WAIC)

- JIS X 8341-3の理解と普及を促進
- ウェブアクセシビリティ向上に必要な基盤の構築
- 原案作成メンバー、関連企業、関連省庁(経済産業省、総務省、デジタル庁)、利用者などから構成
- 会員組織 35, 賛助会員 5 (2025年7月現在)
- 有識者の方々を加えて原案作成委員会を構成



# 改正に向けた取り組み (附属書、その他)

## 附属書JA（参考）ウェブアクセシビリティの確保・維持・向上のプロセスに関する推奨事項

- ウェブアクセシビリティに関する取り組みは、継続的に取り組むことが重要であることを中心に全体の構成を整理
  - プロセスの例としてPDCAを挙げていたが、PDCAはあくまで手段の一つ
  - PDCAに依存しない構成に変更
- 公的機関だけでなく、民間での利用も想定して整理
- 情報システムや広報用途での利用など、取り組みの対象にあわせた推奨事項を参照できるよう構成を整理

PDCA: Plan (計画), Do (実行), Check (確認), Action (改善)の4段階の繰り返しで業務を継続的に改善する方法



## 附属書JB（参考）試験方法

- 試験を実施する際に注意が必要な項目の補足
  - 試験対象ページの恣意的な選択
  - 試験中に発見した問題点の修正と試験結果の関係 など
- 「ウェブページ一式を代表するウェブページ」の説明・例示の整理
  - 詳細な具体例がある項目とない項目が混在していた
  - 具体例は最小限にとどめ、選択の際に必要な観点などを補足
- 達成基準チェックリスト、試験結果表示などの例の更新
- WAICのガイドラインやFAQとの連携強化（参照や具体例の提供など）

# JIS規格票のアクセシビリティ向上に向けて

- JIS規格票を購入・閲覧する際に提供されるPDFファイルの課題の例
  - 規格の閲覧（音声PDF）： 機械的に抽出されたテキスト情報で構成
  - 規格の購入： 購入者の氏名が読み上げられてしまう（窓口相談が必要）
- アクセシビリティ対応されたPDFファイルやEPUB版の提供に関する検討
  - 閲覧用の音声PDFについても最低限の構造化

ありがとうございました

是非ご一読を

**Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.2 日本語訳**

<https://waic.jp/translations/WCAG22/>

